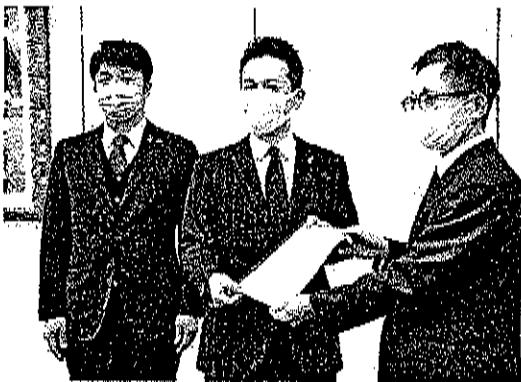


立憲民主県連

今夏参院選候補 共産と共闘せず

立憲民主党県連は十五日、今夏の参院選福井選挙区（改選数二）で、野党統一候補の擁立に向けた共産党との協力はしないとの方針を示した。斎木武志代表が報道陣の取材に「少なくとも福井としては全く考えていない」と答えた。

共産党は新人の山田和雄氏（左）の擁立を発表し、立憲などと野党統一候補の実現へ向けて調整する姿勢を示していた。斎木氏は、共産との共闘に向けた協議は「一切していない」と明言し、参院選に党独自の候補者を擁立するため「最終の詰めをしている」と述べた。



中村副知事④に要請書を手渡す斎木代表⑤と野田幹事長=県庁で

参院選へ向けては、自民

党が六選を目指す現職の山崎正昭氏（右）を公認候補と

決めた中、今月上旬に同党の県議、 笠岡一彦氏（左）も無所属で出馬することを表明した。斎木氏は「他党の話なのでどうこう言えないが、自民の中にも不満があるのださうじ感じ」と受

け止めた。（浅井貴司）

まん延防止申請 県に要請

立憲民主党県連は十五日、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえた経済対策などを求める要請書を県に提出した。飲食店が客足が戻らない中で通常営業を

続けるのではなく、

営業時間の短縮要請などの協力金を受け取れるようにするべきだとして、協力金の前提となるまん延防止等重点措置の適用を国に申請するよう強く求めた。

党県連の斎木武志代表と野田哲生幹事長らが県庁を訪れ

た。米価の落ち込みや燃料の高騰に苦しむ農家への支援や、保育施設での感染拡大時に臨時の施設や保育人材を確保することも求めた。

要請書を受け取った中村保博副知事は、まん延防止等重点措置が適用されると人流が止まるとして「飲食業以外への影響を見極め判断していく」と感じた。

要請後の取材に斎木氏は、重点措置が適用されている隣県と県内を比較し、「格差があり、あまりに不公平だ」と述べた。（浅井貴司）